



# UTO から世界へ！ 第29号

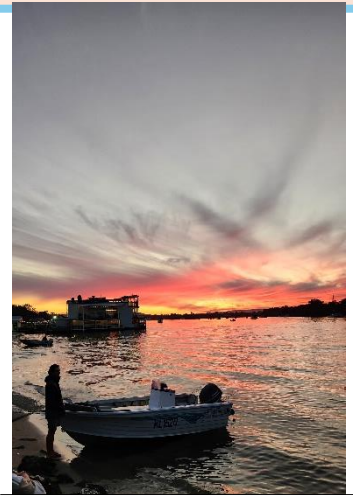
## オーストラリアでワーキングホリデーの冒険中の先輩 森万桜さん(2024年3月卒業)からのメール 住吉中出身、在学中はハンドボール部

### ワーキングホリデーとは

特定の国と国の間で結ばれた協定に基づき、若者が一定期間、その国で働きながら観光や旅行を楽しむことができるプログラムです。通常、18歳から30歳(国によっては35歳まで)の若者が対象となり、現地で短期の仕事を探して働きながら、生活費を稼ぐことができます。

ワーキングホリデーは、旅行先の文化を体験し、語学力を向上させるとともに、現地での生活に必要な費用を稼ぐことができるため、特にバックパッカーや若い旅行者に人気があります。

現在、日本は、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、イギリス、アイルランド、ドイツ、フランス、韓国、デンマーク、ノルウェー等と協定を結んでいます。各国の大使館や領事館で詳しく知ることができます。



写真提供：森万桜さん



仕事は日本食屋さんでウエイトレスをしています。初めは英語を使うので疲れを酷く感じ、現実逃避したい日々でした。もちろん日本でのアルバイト経験も豊富ではなかったのでこれもまた1から学び、出勤するたび失敗をおかしメンタルもやられてストレスを感じていましたが私の性格上それを引きずっている自分が嫌だったので失敗してこそだって辛いのは自分だけじゃないって言い聞かせていました。むしろ失敗し過ぎて今は間違えても何も思わなくなるほどです。人は繰り返して慣れると基準がそれになりある意味継続することって面白いなと思いました。また挫折があることでより自分の物語が濃くなるなと思います！

正直 Noosa はビーチ自然!しかないため日本にいるときより娯楽が少なく休日は暇っていう日が多いです。しかしこっちに来て人と関わること、家の外に出て太陽を浴びること、健康的な生活を送ることの大事さを痛感しました。それからはなるべく友達と会ったり人と話す機会を増やしたりしています。また、海外に行ったら価値観が変わるということをよく聞いていたんですが私の場合人間関係と日常への価値観が変わりました。失って気づくということはこういうことなんだと、当たり前に見える友達、便利なもので溢れた部屋、毎日美味しいご飯があること、お風呂でゆっくりしたりという当たり前だった日常が価値あるものだと感じ時間を大切にしようと思えました。会えるときにできるときにその時その時間を噛み締めたいなと思います。

そして友達と話しているときに気づいたのですが人は無い物ねだりが多いのかなと、なので定期的に自分と向き合うことが大事なのかなと思います。

長文失礼しました。質問があればまた連絡お待ちしております。

